

うきしま

第82号

令和5年10月2日
PTA広報部

特集

体育祭

令和五年六月二日（金）、浮島分校体育館にて体育祭が開催されました。全校生徒が二つの団（赤団・青団）に分かれて各競技で得点を競い合いました。今年は、新しい競技種目を取り入れて種目数を増やしたので、出場回数が増えた選手の方々は大変だったと思いますが、楽しい体育祭になりました。

競技種目は次のとおりでした。

- ① 玉入れ
- ② 借り物競走
- ③ パン食い競走
- ④ リレー
- ⑤ ドッジボール
- ⑥ 大縄跳び
- ⑦ 足し算リレー
- ⑧ 綱引き



赤団応援パネル



青団応援パネル



③ パン食い競走
青団 34 — 28 赤団



② 借り物競走
青団 67 — 57 赤団



① 玉入れ
青団 22 — 11 赤団



⑥ 大縄跳び
青団 10 — 20 赤団



⑤ ドッジボール
青団 20 — 10 赤団



④ リレー
青団 10 — 20 赤団



⑧ 綱引き
青団 90 — 30 赤団



⑦ 足し算リレー
青団30 — 30 赤団

二人三脚から三人四脚へ
繋がる人が足し算されていく

P T A 会員の皆様にはますます御清祥のこととお喜び申し上げます。皆様には、日頃から浮島分校の教育活動に御理解と御協力をいただき心から感謝します。

新型コロナウイルス感染症は感染症法上の位置づけが5類に見直され、新たな段階に移行しました。とはいえ今も感染拡大は続き、その影響は小さくありません。学校としても引き続き感染拡大防止には十分留意してまいります。これに関わって少しでも心配や不安をおありでしたら、どうか御連絡をいただきますようお願いいたします。



御挨拶
校長 塩尻 徹

さて、本年度も浮島分校では、P T A に関わる業務を分業化して会員全員で役割を分担いただいています。各種会議や八月末の校内美化活動など、それぞれ参加いただいた会員の皆様にはお世話になりました。今後も引き続き、一人一人ができる形で P T A 活動に御参加・御協力をいただきますよう改めてお願いします。

さて、地元の行政・産業界の皆様と会議等でごいっしょする中で、人手不足の問題をしばしば耳にすると同時に、若年層の地元定着や U ターン人材の育成などに関して地元の学校への大きな期待を感じています。浮島分校では、年々学校紹介で就職をする生徒の割合が高まり、そのためのキャリア教育の充実にも努めているところであります。各自が自分の長所や希望をしっかりと自覚し、長く勤めることのできる就職先を見つけるとともに地元を支える人材になってほしいと思います。また進学であれ就職であれ、舞鶴であれ舞鶴以外の地であれ、そこでしっかりと根を張り、自分のため、自分の周りの人のため、地域のために力を発揮できる人となるように願っています。そのために浮島分校では、校内・教室での日々の授業等に加えて、校内外でも乗り出してさまざまな人や

団体との交流を深めたり、多様な体験を重ねたりするようにしていきます。これにより生徒の皆さんが勇気をもって新たな一歩を踏み出す力をつけられるように支援をしていきたいと考えています。

二学期も授業に加えて、生活体験発表会、両丹定通総合体育大会、球技大会、遠足、文化祭などさまざまな行事を予定しています。それらすべてが、生徒の皆さんにとっては「小さなゴール」です。この小さなゴールを一つ、また一つと積み重ねた先に進級・卒業、進学・就職、社会的自立といった大きなゴールが必ずやってきます。

私は、二学期の始業式で「頑張る人を応援する」のは当たり前、それだけでなく「皆さんが頑張れるように応援する」と伝えました。浮島分校教職員一同で力を合わせて応援しますし、ぜひ生徒の皆さんにはそれに応えてほしい、互いに応援しあえるようであってほしいと願っています。きっと、そのような相互作用でいっそう素晴らしい結果が得られることと期待しています。P T A 会員の皆様にも、引き続き生徒たちを支え、自立した社会の一員として成長していただけるようにお力添えをお願いいたします。

各学年より



右側から
河本 一年担任
青松 二年担任
温井 三年担任
山本 四年担任

一年担任 河本 壮平

今年度、一年生の担任を務めることとなりました河本壮平です。教科は理科です。今年度より浮島分校に参りました。よろしくお願いたします。

今年度、浮島分校一年生は十一名となります。一年生から四年生までで一番多い生徒数になり、最も賑やかな学級といえます。

さて、一年生も入学して五ヶ月以上になります。夜の学校生活にも少しずつ慣れてきたのではないのでしょうか。今年度は多くの生徒がアルバイトを始め、学校外でも様々な社会経験を積んでいることと思います。そこで今の一年生に伝えたいことを書きます。

自分を自分で褒めることです。社会に出て褒められる経験は少ないです。むしろ怒られてばかりです。ストレスや疲れがたまることが多いです。自分で自分を褒められるような行動をとりましょう。「他の人のために少し掃除をしよう」「もう、「明るく挨拶をしよう」など、出来ているクラスメイトもいます。他の人の褒めたいところを真似しましょう。よりよい自分に、より自分で褒めたいくなる自分に、そしてそんな自分をもっと好きになりましょう！

褒めるところがない？ そんなことは無いはずですよ。いつも担任は皆さんの良いところは褒めていくはずですよ。それを続けていきましょう。浮島分校の四年間は、皆さんの人生にとってはただの通点です。ここで成長して社会に出ていくこと、それを意識しまし

よう。

二年担任 青松 載剛

今年度、二年生の担任を務めることとなりました。教科は保健体育です。部活動はバドミントン部の顧問をしています。また、競技者兼コーチとしてボートの活動をしています。

昨年一年間、非常勤講師として二年生を見てきました。生徒と交流できる機会は多くはありませんでしたが、それでも二年生になった生徒を見て変化を感じました。

それは、教室内で会話をしていることが増えたことです。ある人からすれば「当たり前」のことかもしれませんが、一年生の時は、それぞれが本を読んだり、携帯を触ったりと会話している姿があまり見られなかったので大丈夫かな、と心配をしていました。ところが、二年生になり教室にいる姿を見てみると、楽しそうに会話をしている生徒も見かけるようになりました。教室全体がどことなく明るくなり、生徒の顔つきも優しくなってきたように感じます。

会話というのは、生きていく中で必ず必要な技術です。浮島分校では、誰かと話したくても自分からはなかなか踏み出せない生徒も少なくありません。そんな中でも

会話ができるようになってきた、というのは「大きな一歩」です。まだまだ、いろんな経験をいろいろな人やいろんな感情に出会って成長していく途中ですが、成長できている瞬間を感じられることは教員の楽しみです。

二年生の皆さん！二年生期間、残り半年ほどです。何かをするには短いですが、何もしなければすぐに一年が過ぎます。「これを頑張った！」と自身を持って言えるように一緒に頑張ろう！



ボート実習

三年担任 温井 正人

今春より三年担任をさせて頂いており、今年度はよろしくお願ひいたします。

5月からコロナが季節性インフルエンザと同じ位置づけをされましたが、まだマスクを手放せない人が多く、学校でも同様というところではあります。

コロナも三年になります。その影響でリモート、iPad、チームズ等々身近ではなかったデジタル化が一気に広まりました。歴史的な功罪はわかりませんが、今はその流れについていかざるを得ないというところです。

さて、三年生は入学時と同様、計五名でスタート。大半の生徒がアルバイトをしており、飲食店、介護施設、ビジネスホテル等で社会経験を積みながら勉学や部活動、生徒会活動との両立を図っています。最終学年に向けて一層経験値を高めて欲しいです。

昨年は九月でしたが、今年六月にポート実習が実施されました。今回で二回目。昨年経験しているため少しは慣れたでしょう。舞鶴という海のある地の利、そしてポート指導ができる指導者の存在があつて初めてできることです。今できる経験は大切なこと

だと思ひます。

課題学習については、今年度も二年・三年合同での実施です。昨年度は地元産業のことを調べましたが、今回は舞鶴の紹介という内容で自由に取組んでいます。先輩として率先して後輩を引っ張って欲しいところです。

四年担任 山本 彰治

四年生の様子

この夏は今までにないような異常気象で、舞鶴もお盆には台風による大雨の被害や、さらには連日猛暑日が続きました。東北の福島県では四十度を記録し、北海道でも八月下旬に札幌で三回も猛暑日がありました。この京都においても九月初旬は猛暑日が続くとの予報です。まだまだ暑い日が続きますので、体調管理にはくれぐれも気をつけてお過ごしください。

さて、現在卒業見込の三名については、無事に進路が決定した上で、来年の三月に笑顔で浮島を巣立つ事を願っています。

三年生までは、全体的に欠席日数が多かったのですが、さすがに四年生ともなると自覚が出てきたのか、欠席日数が随分減ってきました。六月には担任、進路担当者、

保護者、本人の四者面談をおこなひ、希望進路を決定しました。

就職希望者は九月に行われる就職試験に臨みます。進学希望者はそれぞれの試験日までにしっかりと学力向上に取り組み、見事合格を勝ち取ってください。

二期は、それぞれの進路が決定する大事な時期です。悔いのないように頑張ってください。

学年部以外の校務分掌より

教務部長 村上 和也

夏休みも終わり、いよいよ二期が始まりました。この学期は一年で最も期間が長いだけでなく、いろいろな行事があります。そして世の中では実りの秋で、一年間で最も多くのものを収穫する時期となります。浮島分校でも行事や日々の学校生活を通して生徒たちの大きな成長を期待できる学期でもあります。学習だけではなく、スポーツや文化的な活動・趣味などに励んで、コミュニケーションをする力や、粘り強く物事に取り組む姿勢、豊かな感性なども伸びてほしいと思ひます。個々の生徒がそれぞれの特性を

生かして伸びていけるよう、よりよい、応援していきたいと思ひます。伸びようとする気持ち、変わろうとする気持ち、やってみようとする気持ちなど、生徒諸君のやる気を応援していきます。



華道教室

生徒指導部長 山段 優

無事に一学期を終え、二期も九月が終わろうとしています。春に入学してきた一年生の皆さんもそろそろ浮島分校に馴染んできた

のではないのでしょうか。
さて、今年度も生徒たちは比較的落ち着いた様子で学校生活を送ることができています。六月の体育祭では短い準備期間の中、生徒たちはそれぞれに積極的な活動を見せてくれました。当日は直前まで警報がでていたこともあり、少し欠席が増えたものの、新しい競技や復活した競技もあり、それぞれに良い顔をしていたなど嬉しく思います。

二期期にも球技大会をはじめ、遠足、文化祭等大きな行事があります。生徒の皆さんにとって実りあるものになるように考えていきたいと思っておりますので、積極的な参加を期待しています。

進路指導部長代理

副校長 坂根 賢

進路指導部長の山下教諭が、病氣療養のため長期間休職することになり、その期間中、副校長が進路指導部長の代理を務めることになりました。どうぞよろしくお願ひいたします。

今年度の卒業予定者数は三名で、その内一名が就職希望、二名が進学希望という状況です。四年生は、基礎学力や一般教養がどの程度身につけているのかを知るた

め、六月に全員就職模擬試験を受験しました。四年生の皆さんは、模擬試験結果を見て、基礎学力や一般教養について自分の強みや弱みを知ることができたのではないのでしょうか。
一学期の進路学習として、全学年で「ライフプラン」を考える取組を実施しました。生徒の皆さんの多くは、普段は日々の生活に追われ、長期的な人生設計など考えることは無いと思いますが、この進路学習を通じて、自分を見つめ直すとともに今後の人生全体について考えてほしいと思っております。



浮島クリーン活動

保健部長 太下 絵里香

毎日元気がいっぱい過ぎて過ごせたらいいのですが、元気が出ない日もあります。むしろ元気が出ない日の方がレアかもしれません。『体調不良』とは使いやすい言葉で、身体に不調があるときに一言で済みます。しかし、感染症や熱中症等、健康を害する様々な原因がある中で、身体のどこがどう不調であるのか、詳しい症状を教えてくださいと思っています。頭痛・腹痛、眠れなくなると身体がだるい、気持ちが悪くない等、様々な理由があると思います。原因が何となく想像がつくものや、思い当たることのないもの、様々だと思います。自分のことは自分しかわかりません。誰かが察してくれるのを待たないようにしてほしいです。自分について知る機会なので、自分と向き合い、身体と心のご機嫌を取る方法を少しずつ身につけてほしいと思います。元気がいっぱいなくても、『悪くない日』を増やしてあげたいのかなと思います。一緒に考えていきましよう。
一学期に受けた健康診断の結果、受診の必要な人へ通知を渡しています。受診をして、報告書の提出をお願いいたします。これからも、自分の健康管理をできるように、できることの継続をお願いします。

P T Aトピックス

【郡部育友会連合会】

七月五日(水)、京都府立高等学校定時制郡部育友会連合会(略称「郡育連」)の令和五年度総会が開催されました。今年度は北桑田高等学校美山分校が事務局校で、オンライン会議の形式で総会が実施されました。当校P T A代表として山本新治様出席していただきました。出席といいましても、浮島分校の応接室でコンピュータを前にして座るだけなので、非常に負担の軽い会議出席となりました。山本新治様には、浮島分校が令和四年度事務局校であったので、令和四年度事業報告を行っていたいただきました。

【P T A美化活動】

八月二十八日(月)、P T A活動の一環として校内の美化活動を実施しました。六名の保護者等の皆様に御参加いただき、浮島分校教職員と共に体育館周辺のグラウンドを中心に除草作業を実施しました。少しでも涼しい時間帯を狙って、午前中に実施しましたが、午前九時にはすでに猛暑の天候で、

参加者は全員大量の汗を流しながら作業を行いました。PTAの皆様が頑張っていたいただいた結果、体育館周辺はきれいに除草され、生徒たちは気持ちよく二学期を迎えることができました。

生徒の活躍

☆令和5年度京都府高等学校
定時制通信制バドミントン
両丹選手権大会
兼全国大会両丹予選会

〈開催日〉

令和5年5月20日(土)

〈会場〉

京都府立東舞鶴高等学校
浮島分校体育館

〈戦績〉

○男子ダブルス

・優勝 村島 琉斗

・3位 日置 凱風

○男子シングルス

・優勝 山中 大慈
・準優勝 村島 琉斗



☆令和5年度京都府高等学校
定時制通信制バドミントン
選手権大会府下大会
兼全国大会予選

〈開催日〉

令和5年6月11日(日)

〈会場〉

京都府立桃山高等学校
体育館

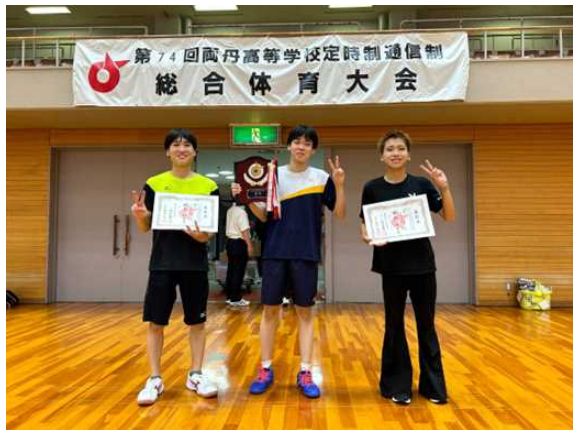
〈戦績〉

○男子ダブルス

・3位 村島 琉斗

・4位 山中 大慈

○男子シングルス
・4位 山中 大慈



☆第74回両丹高等学校

定時制通信制総合体育大会
バドミントン競技

〈開催日〉

令和5年9月16日(土)

〈会場〉

福知山市三段池公園体育館

〈戦績〉

○男子ダブルス

・優勝 山中 大慈

・準優勝 橘 優斗

※交代でペア編成

☆令和5年度京都府高等学校
定時制通信制生徒生活体験
発表大会

〈開催日〉

令和5年9月7日(木)

〈会場〉

京都府総合教育センター
講堂棟

〈出場者・題名〉

吉田 璃子・「私の道」

〈成績〉

優秀賞

